

埼玉県立小児医療センター 麻酔科

【病院概要】

当院は 1983 年に設立された小児専門病院です。2016 年末よりさいたま赤十字病院と併設され、地下 1 階／地上 13 階の新病院となります。新病院は JR さいたま新都心駅、JR 北与野駅と直結しており、雨の日も濡れずに病院へと通勤可能です。

新病院では、内視鏡手術室の増床やハイブリッド手術室の新設が予定されています。また、ハイリスク新生児受入れのための新生児集中治療室 (NICU)、新生児治療回復室 (GCU) の大幅な増床や、小児集中治療専門医によるクローズ運営の小児集中治療室 (PICU) 14 床の新設が予定されています。隣接するさいたま赤十字病院に新設される母体・胎児集中治療室 (MFICU) と連携して総合周産期母子医療センター機能を整備していく予定です。



【診療内容】

小児は基本的に全ての手術で全身麻酔が必要になります。さらに個々の症例で本人の状態・先天性疾患の有無などが異なるのでそれぞれの症例に応じた麻酔方法（麻酔の種類、使用する麻酔薬、気道確保の方法などの選択）が必要となってきます。当科では小児麻酔に精通したスタッフたちにより子供たちが安全に、できるかぎり不安を取り除いて手術を受けられるよう麻酔・全身管理をおこなっています。

【麻酔科体制】

常勤 8 名、非常勤 8 名。その他にも、小児科から研修に来られている先生がいます。



【麻酔症例】

- ・ 総手術件数 2600 症例
- ・ 全身麻酔症例数 2541 症例
- ・ うち脊髄くも膜下麻酔または硬膜外麻酔併用 484 症例
- ・ 6歳未満の麻酔 1512 症例
- ・ 心臓血管手術の麻酔 171 症例
- ・ 消化管内視鏡検査の麻酔 139 症例

【当科のいい所】

症例が豊富であり、エコーガイド下運動神経ブロックや iv-PCA 管理、手術室外での鎮静管理や心臓麻酔も経験できます。学会発表や論文作成、海外医療協力についても多くの機会があります。北米での臨床経験がある指導医が複数名いらっしゃることで、海外留学についてのアドバイスもいただけます。新病院では小児集中治療の研修も可能になる予定です。

小児特有のさまざまな疾患を経験する日々ですが、部長をはじめ指導医の先生方が根拠に基づいた麻酔管理を丁寧に教えてくださいます。また、スタッフが多いため、空いた時間にその日の症例を復習することができ、その日の疑問を次の日に持ち越さずに解決できる環境も充実した研修生活につながっています。

文責：東平哲之